

抗がん剤の使用者数等

1. がん患者数

	患者数	データ出所	定義
①	69.4万人	「地域がん登録全国推計」によるがん罹患数(平成18年)	がん罹患数:対象とする人口集団から、一定の期間(年間)に、新たにがんと診断された数(罹患数)を推計したもの
②	151.8万人	「患者調査」による悪性新生物の総患者数(平成20年)	総患者数:調査日現在において、継続的な医療を受けている者(調査日に医療施設を受療していない者を含む。)の数を推計したもの

2. 抗がん剤の使用率

試算値	データ出所	計算方法等
30.1%	「JMDCLレセプトデータベース」(平成17~21年:がん患者8,928人)に基づく推計	「JMDCLレセプトデータベース」から、がんの部位別の患者数及び抗がん剤処方者数を集計、部位別処方割合を算出。がん患者数について年齢補正の上、全体の処方割合を算出。 ※抗がん剤処方者数は、出来高診療のみのデータであり、包括診療(DPC)の場合が含まれていない。 ※健保組合データのため、年齢分布が就業者に偏っている。

※上記以外の推計方法について、現在検討中。

3. 抗がん剤の使用者数 (単純な推計)

	試算値	データ出所	計算方法等
①	20.9万人	「地域がん登録全国推計」(上記1. ①)及び「JMDCLレセプトデータベース」(上記2.)に基づく推計	$(69.4万人) \times (30.1\%) = 20.9万人$
②	45.7万人	「患者調査」(上記1. ②)及び「JMDCLレセプトデータベース」(上記2.)に基づく推計	$(151.8万人) \times (30.1\%) = 45.7万人$

※上記以外の推計方法について、現在検討中。

4. 副作用の発現頻度 →別添参照

薬物療法での製造販売後調査における副作用の発現頻度等(注1)

医薬品名	対象疾患	集計対象数	全副作用		重篤又はGrade3以上の副作用(注2)		死亡(注3)		当該医薬品との関連が否定できない死亡(注3)	
			例	%	例	%	例	%	例	%
マイロターグ	急性骨髄性白血病	753	663	88.0	594(*)	78.9(*)	586	77.8	64	9.8(注4)
ベルケイド	多発性骨髄腫	666	491	73.7	114	17.1	76	11.4	20	3.0
アリムタ	悪性胸膜中皮腫	903	760	84.2	-	-	290	32.1	7	0.8
アバスチン	大腸癌	2698	1589	58.9	381	14.1	321	11.9	33	1.2
タルセバ	肺癌	3488	2852	81.8	-	-	-	-	-	-
ゼヴァリン	非ホジキンリンパ腫	104	90	86.5	-	-	-	-	-	-
	マントル細胞リンパ腫	20	18	90.0	-	-	-	-	-	-
スーテント	腎癌	464	438	94.4	201	43.3	67	14.4	12	2.6
	消化管間質腫瘍	191	186	97.4	67	35.1	15	7.9	6	3.1
サレド	多発性骨髄腫	1035	634	61.3	102	9.9	-	-	-	-
スプリセル	慢性骨髄性白血病	537	423	78.8	249(*)	46.4(*)	-	-	-	-
	急性リンパ性白血病	298	248	83.2	169(*)	56.7(*)	-	-	-	-
タシグナ	慢性骨髄性白血病	214	163	76.2	-	-	-	-	-	-
タイケルブ	乳癌	230	155	67.4	28	12.2	-	-	-	-

注1: 2005年以降に承認された抗悪性腫瘍薬のうち、製造販売後の全例調査が実施されており、かつ、2011年8月11日時点で製造販売業者のホームページ上で結果が公表されている対象とした。「-」は、異なる基準での集計がなされている等の理由により、該当する集計結果をホームページ上では確認することができない場合である。

注2: (*)印はGrade3以上の副作用を、無印は重篤な副作用を示す

注3: 調査期間内における死亡を示す

注4: 生死不明症例を除いているため母数を652へ変更している